

## 平成 22 年度 富山湾で初めて記録した魚類

伊串 祐紀・稲村 修 (魚津水族館)

平成 22 年度に、富山湾で初めて確認した  
4 種の魚類を報告する。

ハダカエソ科 Paralepididae

ナメハダカ

*Lestidium prolixum* Harry



採集年月日：2010 年 5 月 10 日

採集地：射水市新湊沖 水深 40m

採集方法：定置網 (黒山 5 番)

採集船：恒久丸

提供：新湊漁業協同組合

全長：289mm 体高：24.1mm 体重：40.1g

鰭条数：背鰭 10；臀鰭 32

本種は主に駿河湾以南の太平洋岸に分布する (中坊, 2000)。日本海側における分布は不明だが、福井県沿岸では底曳網漁業で希に漁獲される (福井県水産試験場)。

最大の特徴は、腹中線に一本の発光器を持つことである。外見はヒトスジナメハダカに似るが、背鰭が腹鰭よりも後方に位置していることや発光器の前端が主鰓蓋骨の下方にあることで判別できる (中坊, 2000)。

アジ科 Carangidae

イトヒラアジ

*Carangichthys dinema* (Bleeker)



採集年月日：2010 年 12 月 4 日

採集地：黒部市沖

採集方法：定置網 (鷹野定置)

提供：黒部漁業協同組合

全長：275mm 体高：119mm 体重：374g

鰭条数：背鰭 VIII-I, 19；臀鰭 II-I, 17

本種は南日本、インド、西太平洋域の内湾やサンゴ礁域の浅所に生息する (瀬能, 2000)。漁協関係者への聞き取りによれば、同時期に多数漁獲されたとのことであり、群れで富山湾へ回遊してきたようである。

外見は、稀に富山湾で漁獲されるナンヨウカイワリに似るが、本種には背鰭軟条基底に沿った明瞭な黒色斑列があることで判別できる (瀬能, 2000)。

ハコフグ科 Ostraciidae

コンゴウフグ

*Lactoria cornuta* (Linnaeus)



採集年月日：2010 年 12 月 13 日

採集地：入善町飯野沖 水深 50m

採集方法：定置網(飯野定置)

提供：黒部漁業協同組合

全長：310mm 体高：70.8mm 体重：328 g

鰭条数：背鰭 9；臀鰭 9；胸鰭 11

本種は静岡県以南；インド、西太平洋域の内湾や浅所に生息している(林, 2000). 津田(1990)は、「富山湾では珍稀種」と記しているが、捕獲の記録については記述されていない。

イトヨリダイ科 Nemipteridae

キスジタマガシラ

*Parascolopsis tosenis* (Kamohara)



採集年月日：2011年3月8日

採集地：魚津市経田沖 水深 60m

採集方法：底引網

提供：田中 智宏(好栄丸)

全長：82.4mm 体高：27.1mm 体重：12.4 g

鰭条数：背鰭 X-9；臀鰭 III-7；腹鰭 I-5

本種は南日本，東シナ海，台湾，インドネシア東部の水深 90～300mの泥底に生息する(金城, 2007). 高知県や長崎県の沖合いで，底引網により混獲された例があるものの，捕獲例は少ない(赤崎, 1988).

本報告の4種のうち，ナメハダカとキスジタマガシラについては，各1個体のみの採集で，貴重と判断し，ホルマリン標本と

して当館で保存している。

#### 引用文献

- 赤崎 正人. 1989. キスジタマガシラ 解説, 益田 一編. 日本産魚類大図鑑 解説 二版. 東海大学出版会. 169-170.
- 林 公義. 2000. ハコフグ科 解説, 中坊 徹次 編. 日本産 魚類検索 全種の同定 第二版. 東海大学出版会. 1414.
- 金城 清昭. 2007. イトヨリダイ科 解説, 岡村 収編. 山溪カラー名鑑 日本の海水魚 三版. 山と溪谷社. 369.
- 中坊 徹次. 2000. ハダカエソ科 解説, 中坊徹次 編. 日本産 魚類検索 全種の同定 第二版. 東海大学出版会. 371.
- 瀬能 宏. 2000. アジ科 解説, 中坊徹次 編. 日本産 魚類検索 全種の同定 第二版. 東海大学出版会. 804.
- 津田 武美. 1990. 原色日本海魚類図鑑 初版. 桂書房. 377.

#### 引用 URL

福井県水産試験場. 2011.

<http://www.fklab.fukui.fukui.jp/ss/stop.html>